



いしかわ労福協

第 573 号 2015年10月25日

発行所 石川県労働者福祉協議会
発行責任者 狩山 久弥
編集人 上野 貞彦
〒920-0024 金沢市西念3丁目3番5号
電話 (076) 231-1737
FAX (076) 231-1731
http://www.ishikawa-rofukukyo.jp
info@ishikawa-rofukukyo.jp
毎月1回 25日発行

奨学金制度の改善、生活困窮者自立支援制度の浸透充実に向け 2016年度 自治体要請行動がスタート



県・金沢・かほく・津幡・内灘市町議会議員団懇談会

労福協は、県内各自治体の2016(平成28)年度
の予算編成を前に各市町への政策制度などの
要請活動を例年実施している。

これに先立ち、9月29日(火)に石川県市長
会及び石川県町長会を訪ね要請内容について説
明した。次いで、10月9日(金)の石川県議会
及び金沢市・かほく市・津幡町・内灘町議会
議員懇談会、13日(火)には加賀地区自治体担
当者会議、加賀市・小松市・白山市・野々市市
議会議員懇談会、14日(水)に能登地区自治体担



加賀地区議員団懇談会



能登地区議員団懇談会

当者会議、
羽咋市・七
尾市・輪島
市・珠洲市
・志賀町・
中能登町議
会議員懇談
会を開催し
た。

働く人た
ちをはじめ
とする全て
の人がより
安心して安

全に暮らせる社会の実現に向けて政策の充実・
改善などを求めるもので、各自治体首長に要請
する事前の説明会とした。

今年も、格差・貧困社会の是正、ナショナル
ミニマムの保障、セーフティネットの強化を軸
として、本年4月から実施されている生活困窮
者自立支援制度の取組み充実や、就学助成制度
などの維持・充実、子どもの貧困率悪化による
子育て世帯の実態把握と支援策の拡充創設、高
齢低所得単身者の実態把握と必要な施策の検討
実施、また、介護保険制度の改正による市町の
地域支援事業への移行においても利用者への
サービスが維持される
よう措置を
講じること
などが要請
事項に盛り
込まれた。



加賀地区自治体担当者会議



能登地区自治体担当者会議

説明会で
は、要請内
容について
は理解を得
られたよう
だが、地方
財政が厳し
い事情から
実現には難
しさが伺え
るような点
もあった。

この後、22日(木)から、野々市市を最初に
県内各自治体首長に要請を行い、11月30日(月)
の石川県知事、12月1日(火)の金沢市長への
要請で全ての自治体に対する要請を終える予
定。

福祉グラウンド・ゴルフ中央大会



労福協ライフ・サポートセンターは、10月8日(木)金沢市民芸術村の「大和町広場」

において、第13回福祉グラウンド・ゴルフ中央大会を開催した。

大会には、9地域ライフ・サポートセンターからそれぞれ選抜された238名と県障害者スポーツ協会選抜の30名の選手、合計268名が参加した。

狩山久弥石川労福協理事長、杉森重廣県障害者スポーツ協会副会長が、それぞれ開会の挨拶と始球式の後、後本康裕全労済石川県本部専務執行役員によるホイッスルでプレーを一斉に開始した。

秋晴れの恵まれたコンディションの中で行われた大会は、健常者と障害者の境無く真剣な中で行われつつも和気あいあいと競技が行われ、故障者を出すこともなく全員が競技を終えた。

その後の表彰式では、柚木光北陸労働金庫石

川県本部長と光林邦彦全労済石川県本部長がプレゼンターとなり、団体戦上位5位までと個人戦の上位者を各々表彰した。

浅野正石川労福協専務理事の閉会挨拶の後、お楽しみ抽選会を行い熱い戦いを終了した。

<団体戦>

- 優勝：河北LSC「A」388点
- 準優勝：羽咋LSC「B」389点
- 3位：輪島・穴水LSC「D」390点
- 4位：白山・野々市LSC「A」391点
- 5位：輪島・珠洲LSC「B」397点

<個人の部>

男子

- 優勝：背戸貢(金沢)
- 準優勝：前川楯彦(輪島・穴水)
- 3位：吉田進(小松・能美)
- 4位：吉村智久(白山・野々市)
- 5位：上本一之(白山・野々市)

女子

- 優勝：仕明子浪(珠洲・能登)
- 準優勝：大島洋子(輪島・穴水)
- 3位：春間フミ子(輪島・穴水)
- 4位：林久二子(珠洲・能登)
- 5位：山田恵美子(輪島・穴水)

これからの行事予定

(10月25日現在)

開催日	曜日	行 事	会 場
10月26日	月	自治体要請 能登地区自治体首長要請(～27日)	津幡町以北
27日	火	石川県勤労者互助会 役員会	金沢市内
〃	〃	中央労福協 LSC実務者・相談員研修(～28日)	東京都
28日	水	連合石川第27回定期大会	労済会館
30日	金	労福協 鬼怒川水害被災地支援ボランティア(～31日)	茨城県常総市
11月2日	月	白山市働く人に優しい企業選考委員会	白山市役所
〃	〃	労金本店第2回地域推進委員会	金沢東急ホテル
5日	木	労福協 第4回三役会議	フレンドパーク石川
7日	土	食みどり水 NW 支援米発送式	〃
10日	火	労福協 第6回理事会	〃
11日	水	中部労福協 役職員研修会(～12日)	広島県
16日	月	労福協 ライフ・サポートセンター研修会	グランドホテル白山
17日	火	勤文協 写真撮影研修	能登方面
18日	水	中部労福協第3回幹事会(～19日)	神戸市
23日	月	大衆運動活動家顕彰会 第15回合祀追悼会	卯辰山顕彰碑前、フレンドパーク石川
25日	水	白山市働く人に優しい企業表彰式	白山市役所
27日	金	中央労福協 第62回定期総会	東京都
〃	〃	食みどり水 NW 全国大会(～28日)	金沢市ほか
30日	月	自治体要請 石川県知事要請	石川県庁
12月1日	火	自治体要請 金沢市長要請	金沢市役所
8日	〃	中部会館協 第2回幹事会(～9日)	三重県

いも掘り交流会



ろうふくきょう・子育てネットと労福協ライフ・サポートセンターは、雨は無いものの不安定な天候の10月11日(日)金沢市粟崎の五郎島地区において、「親子いも掘り交流会」を開催した。

交流会には、子育てネット会員を含めた54家族182名の親子が参加し、狩山久弥労福協理

事長が「土に接して親子で触れ合いつつ、大いに楽しんでいただきたい。」と挨拶した後、いも畑に移動した。

今年も丹精込めてさつまいもを育ててきた生産者の忠村喜恵長氏からいも掘りの手順が説明され、大きく実った五郎島金時いもを掘り出した。

参加した親子は、土から顔を出した大きな金時いもを丁寧に掘り出し、掘りたてのいもを手で記念写真を撮る家族など、それぞれにいも掘りを楽しみつつ、たくさんのいもが瞬く間に掘り出された。

いも掘りの後は、畑の中に仕立てた休憩場所で、スタッフが準備した「掘りたての五郎島金時いもの入ったメッタ汁」と持参したお弁当を親子で囲み、自然の中での親子の触れ合いとした。

帰りには親子で掘り出した五郎島金時いもをお土産として渡し、親子交流会を終えた。

中部労福協研究集会

中部地区2府10県で構成する中部労福協主催の「2015年度中部労福協研究集会」が10月19日(月)から20日(火)にかけて福井市で開催され、当県からは光林邦彦全労済石川県本部長、溝田勝北陸労金石川県本部担当部長、久富象二石川労信協専務理事、浅野正労福協専務理事のほか、今回、地域LSCから角三外弘七尾・鹿島LSC会長、赤田実輪島・穴水LSC会長の計6名が参加した。

この研究集会は、中部労福協関係者による情勢の分析やスキルアップのために毎年開催されているもので、1日目の講演1は山岸克司福井県労福協会長による「こころ支えるネットワーク事業」の取り組み報告が行われた。この事業は、自分たちの職場から“メンタル不調者を出さない”ことを目的に、気づきと傾聴の専門家であるメンタルケア・スペシャリストを3年間で150名養成する事業で、事業について詳しく報告された。

続いての講演2は、大内裕和中京大学教授による「貧困ビジネス化した奨学金・苦悩する若者たち」と題し、「今や大学生の2人に1人が何らかの奨学金を利用している。卒業と同時に300万円の借金を背負っての就職となり、非正



規労働者となった若者の多くは返したくても返せない状態となっている。結婚や就職などに大きな影響がでている。」と現状と問題点を講演した。教育費高騰と親の収入減少が原因と言われており、早急な対策と勤労者の収入増の経済政策が望まれる。

集会2日目は、中央労福協顧問税理士の関口邦興氏による「社会保障・税番号制度の実施に向けて：マイナンバー制度について」の説明と問題点の解説が行われた。来年実施のこの制度は、近々「通知カード」が郵送されるが、情報漏えいや悪用など不安要因が払拭されていない。多くの方がこの制度を正しく理解して活用しなければ、政府による一元化管理に使用される恐れがある等と学習した。

約2日間の短い期間での研究集会であったが、今後の活動に活かせる内容の集会であった。

石川労福協専務理事 浅野 正

食みどり水支援稲刈り



食とみどり水を守る石川ネットワークは、9月中旬に県内4ヶ所のアジア・アフリカ飢餓支援

米田において、春に植えた稲の刈り取りを行った。

9月27日(日)には、金沢市牧町の田んぼで稲刈りを行った。

当日は、田植え体験親子や星稜大学留学生ら約60名が参加し、見事に実った稲を丁寧に刈り取り支援米の収穫を行った。

刈り取った稲は、今年の5月23日(土)に海外飢餓支援米用として親子らが参加して田植えをし、その後、この日まで地元の協力者が丁寧

に育成・管理をしてきた。協力者からは、「今年も猛暑、長雨、台風と過酷な自然環境ではあったが、平年どおりに実ったようだ。」とコメントされた。

参加した子どもや留学生らは、指導者から稲刈りの手ほどきを受けた後、普段使うことのない鎌を手に額に汗しながら刈り作業に励んだ。

作業後は、参加者に焼きそばとメツタ汁、フランクフルトなどが振る舞われ、肉体労働後の空腹を満たした。

当日刈り取った稲は、地元協力者の手により脱穀・もみ摺り作業を経て玄米とし、食料難に苦しむアジア・アフリカの国の人々へ支援米として参加者の熱意と共に贈られる。発送の際、今日、子ども等が飢餓に苦しむ子ども等に宛てて書いたメッセージを米袋に貼り発送することとしている。なお、発送式は11月7日(土)を予定。

河北 LSC



河北地域 LSC は、10月11日(日)かほく市「いきいき農園」の秋浜農園と木津農園の2

ヶ所において、交流親子いも作り体験の収穫祭を19家族の参加で開催した。

木津農園では、安江河北地域 LSC 会長の挨拶の後、早速、子どもたちと父母は、最初に芋のつるを切り取り、次にキズが付かないよう一個一個丁寧に掘り進み、あちこちから「わあー！でっけー」と歓声が上がっていた。

それぞれが丹精込めて作った芋は「重さ比べ」「長さ比べ」のコンテストを行い1位～5位までを決定した。

あいにくの曇り空で風も強く今にも雨が降り出しそうな天候でしたが、雨が降ることもなく楽しい一日を終えた。

今年も、収穫した芋の一部を東日本大震災被災者支援として現地に贈る予定です。

河北地域 LSC 吉川 武久

白山・野々市 LSC



今夏の猛暑も忘れないうちに山々の木々は少しずつ色変わりが始まり、あち

こちの名所は「紅葉狩り」の時季に入った。今年は「妙高高原いもり池・松川溪谷」への研修バスツアーを企画し、10月24日に実施した。

当日は珍しく好天気恵まれ、早々と現役やOBの方々を乗せたバスは、目的地に向けて出発した。

参加者全員異口同音に、いもり池周辺を散策しながら「日本の秋の素晴らしさ」に感動と感激をしたと発する一方、鬼怒川氾濫被害など時には災害をもたらす自然の猛威を改めて感じさせられた。

バスの中では、ボランティア活動のこと、地域支援活動のこと、報告やお願いなど LSC に対する話題で会話が弾み、自己研鑽の場としての効用があったかに思われた。

戻った時には多少の雨模様であったが全員無事に帰宅した。

企画運営にあたった関係者に感謝・感謝。

白山・野々市地域 LSC 会長 油 省三

金沢LSC「ありがとうろうきんフェスタ2015」



日頃の練習の成果を披露

て、9月26日(土)石川県産業展示館2号館において開催され、1,600名の労金利用者等が訪れ大いに賑わった。

金沢市内3店舗の北陸労働金庫職員等の出迎いでオープニングされ、運だめしガラポン抽選会や、労金利用者に対し感謝品やスペシャル抽選会の抽選券が渡され、「つきたて餅」も振る舞われた。

ステージでは、労組や職場等で取り組む和太鼓・ジャズ・フォークの演奏やコーラス、フラダンス・よさこい等の踊りが披露された。

物販コーナーでは、連合かなざわ地協役員が担当し、食料品や生活用品が格安販売され



また、福祉施設の入所者が製造販売するパン・クッキー、市内湯涌地区で採れた新鮮野菜等が販売された。さらに、人気のバナナの叩き売りでは、今年も綿会長が先頭に立ち販売した。



マグロ解体ショー

金沢地域ライフ・サポートセンター主催(連合石川かなざわ地協共催・北國新聞社後援)の「ありがとうろうきんフェスタ2015」は今回で10回目を数えるイベントとして

恒例の「マグロ解体ショー」は、ステージで見事な包丁さばきが披露さ

れ、70キロ余りの本マグロはアツという間に完売した。

ちびっ子ゾーンでは、おもしろ自転車・縁日コーナーに人気が集まり、

子供達の元気な歓声が沸き上がっていた。金沢市職組による「こども手づくりコーナー」も大人気だった。

全労済・自治労共済コーナーでは「自動車シミュレーション」等が実施された。また、今回初めて、地震体験車の派遣を受け来場者が地震の怖さを体験した。



ちびっ子ゾーン



金沢市職組によるこども手づくりコーナー



地震体験車



氷田書家による合評

力作が展示され、優秀者の表彰、作品合評では多くの家族連れが見られた。

最後に、ステージではイベント最大の目玉「スペシャル抽選会」が行われ、当選者に豪華賞品が贈られ、更なる労金利用をアピールした。

なお、ちびっ子ゾーン・縁日コーナー等での売上金の一部は、後日、福祉施設へ寄贈の予定です。

金沢地域LSC 事務局長 今西 十曜治

加賀 LSC



加賀地域 LSC は、第 4 回 チャリティコンペを 10 月 4 日 (日) 片山津ゴルフ倶楽部山

代山中ゴルフ場で開催した。

陽射しの強い日ではあったものの、すがすがしい秋風も吹き、13 名の参加者達は、思い思いにプレーを楽しんだ。

当日は参加者からチャリティを募り集まった 12,051 円は、来年 3 月に加賀市に寄付し、児童福祉事業に充ててもらおう予定です。この様な活動を通して、今後も LSC の活動をアピールしていきます。結果は、次の通りです。

優勝：曾明智、準優勝：前田俊彦、第 3 位：永川敏明

加賀地域 LSC 事務局長 永井 達也



加賀地域 LSC は、10 月 24 日 (土) 『第 31 回モデル写真撮影会』を加賀市の中央公園と橋立の 2ヶ所(加佐ノ岬・北前船の里)をロケーションに行った。

参加した 9 名は、好天の中、紅葉を背景にして思い思いにモデルを撮影した。

当日撮影したものや撮り貯めた写真は、後日開催する講評会に持ち寄り、講師からの講評を受け、その後、JR 加賀温泉駅前のアビオシティで行う写真展に展示する。

この様な活動を通して、今後も LSC をアピールしていきます。

加賀地域 LSC 事務局長 永井 達也

勤 体 協

第 34 回勤労者団体登山



10 月 3 日 (土) ~ 4 日 (日)、日本百名山で東京都内最高峰の奥秩父「雲取山」(標高 2,017m)へ中高年男女 27 名が挑戦した。

懐が深く起伏の厳しいコースだが絶好の登山日和にも恵まれ、雲取山荘に予定通り到着した。翌朝、日の出を拝んでから山頂に向かい富士山などの眺望を満喫した。下山後、麓の大滝温泉で登山の疲れを癒し帰還した。

勤体協事務局長 中野俊一

第 49 回県勤労者秋季体育大会

《ソフトボール県決勝大会》

10 月 12 日：金沢市専光寺ソフトボール場

◇ベスト 4

なかのとブラックス、DZ シャークス、居酒屋新、輪島市壮年

(雨天で延期された準決勝、決勝は進出チームの事情により実施できず、本大会は終了となった)

《第 18 回グラウンド・ゴルフかほく市大会》

10 月 25 日：かほく市高松グラウンド・ゴルフ場

◇男子

①ヒロシ&フレンズ、②イーストクラブ、③三七会 A、④七窪友交會、⑤遠塚クラブ(以上かほく市)

◇女子

①高松キララ(かほく市)、②中央公園フレンズ(かほく市)、③いちぢくの実(宝達志水町)、④志賀レディース(志賀町)、⑤宝達ファミリー B(宝達志水町)